

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2016年第31号(週報)

2016年第31週(8月1日~8月7日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 流行性耳下腺炎 : 県全体の患者報告数は減少。湯浅、御坊保健所管内で警報レベル! 一

流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」ともよばれ、主に2~5歳の子どもがかかる感染症です。ムンプスウイルスが原因で、2~3週間の潜伏期間を経て耳下腺の腫脹・疼痛、発熱などの症状がみられます。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.13人(前週:2.48人)と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況となっています。

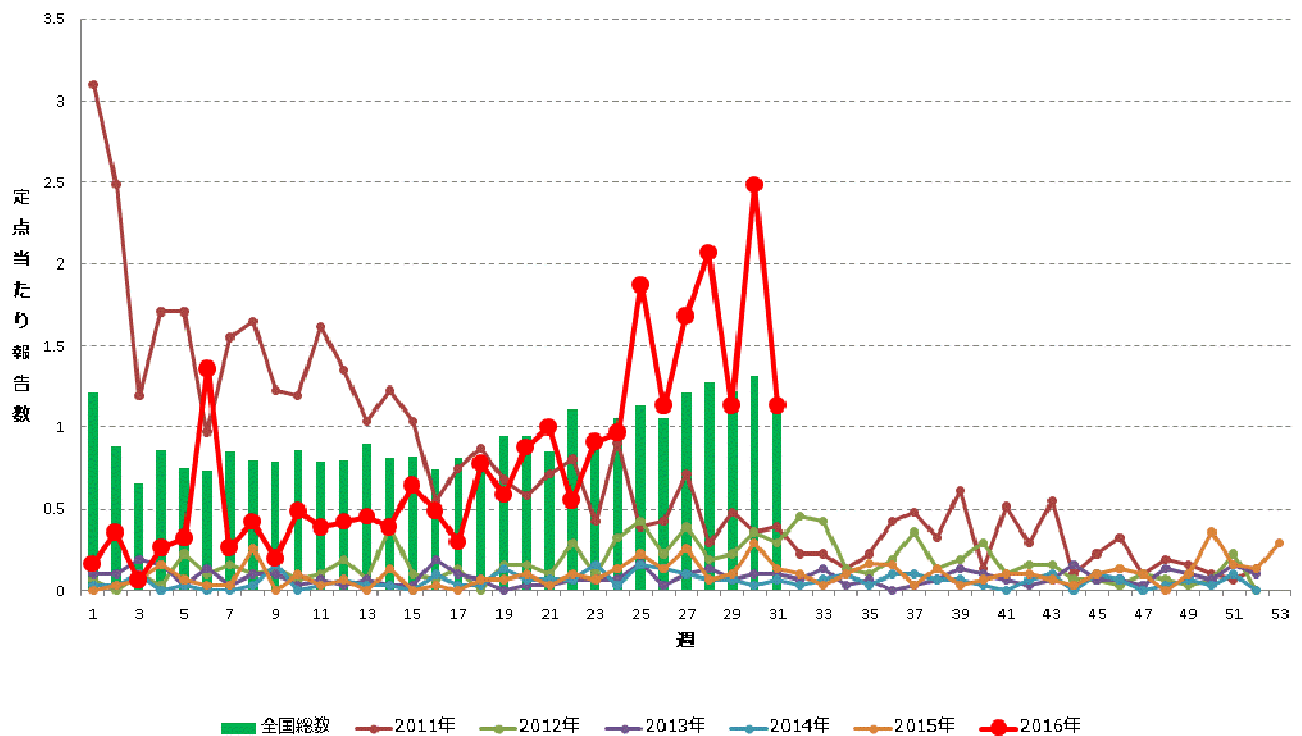
保健所別では、湯浅保健所管内が3.00人(前週:14.67人)、御坊保健所管内が5.00人(前週:10.00人)と減少しましたが、警報レベル終息基準値を上回っているため警報レベルが継続しています。

全国の定点当たり患者報告数は1.17人(前週:1.31人)と減少しています。

主な感染経路は、上気道を介した飛沫感染や接触感染であり、感染力が強いです。感染予防にはワクチンが有効です。

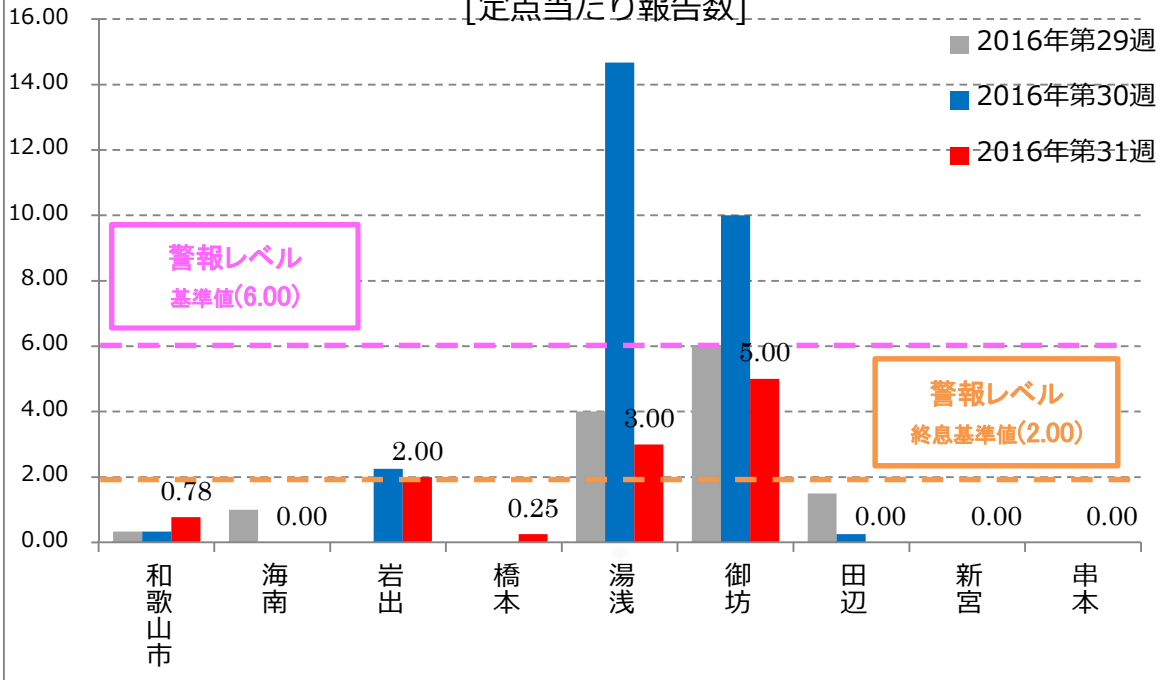
流行性耳下腺炎に関する説明はこちら:(国立感染症研究所HP)
(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/529-mumps.html>)

流行性耳下腺炎(和歌山県感染症情報センター)
定点当たり報告数グラフ



流行性耳下腺炎-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



－ 咽頭結膜熱：御坊保健所管内で警報レベル継続！ －

咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とするアデノウイルスによる小児の急性ウイルス性感染症です。夏に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれています。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.35人（前週：0.52人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。

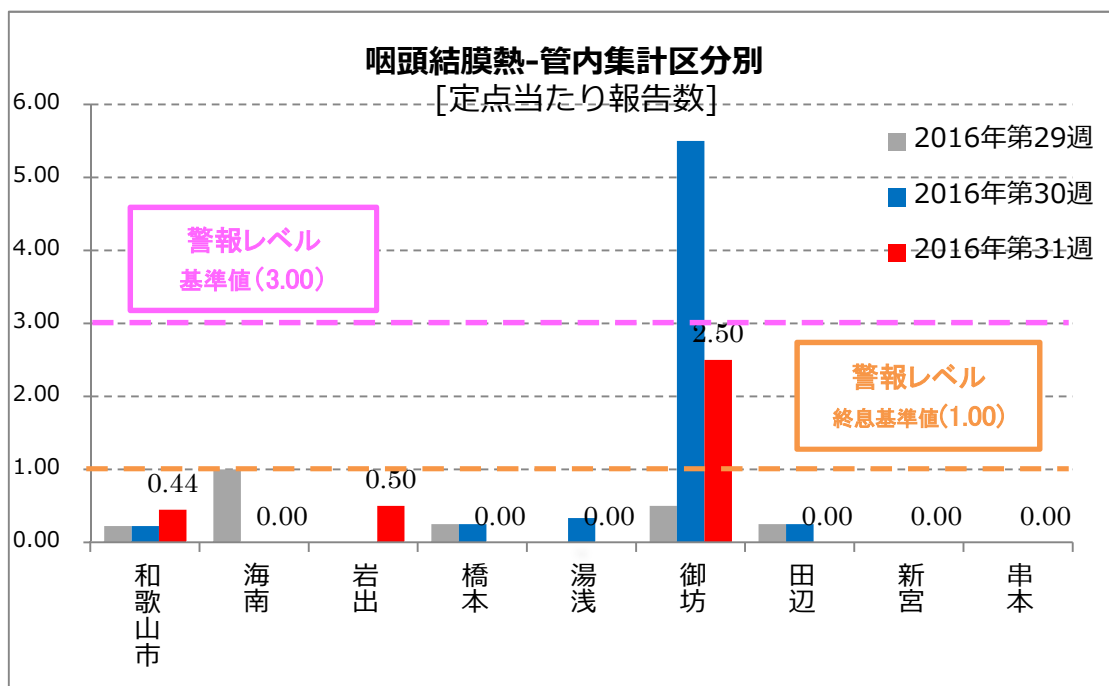
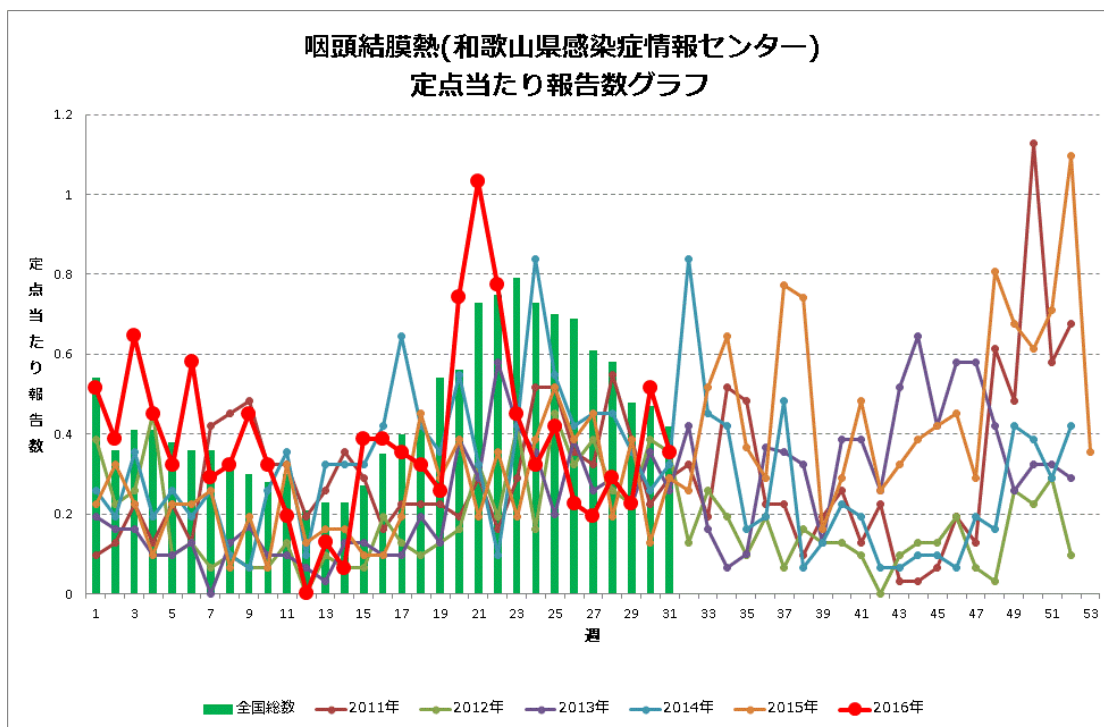
保健所別では、御坊保健所管内で2.50人（前週：5.50人）と減少しましたが、警報レベル終息基準値を上回っているため警報レベルが継続しています。

全国の定点当たり患者報告数は0.42人（前週：0.47人）と減少しています。

感染経路は、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であることから、感染者のタオルの共用を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。

アデノウイルスに関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2110-disease-based/a/aden-pcf/idsc/4th/4325-adenovirus-page.html>)



ヘルパンギーナ：県全体では減少傾向。和歌山市、岩出、田辺保健所管内で警報レベル！

ヘルパンギーナは、発熱と口腔内に水疱性発疹ができるウイルス感染症で、いわゆる夏かぜの代表的な疾患です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.81人（前週：3.48人）と減少傾向が続いています。

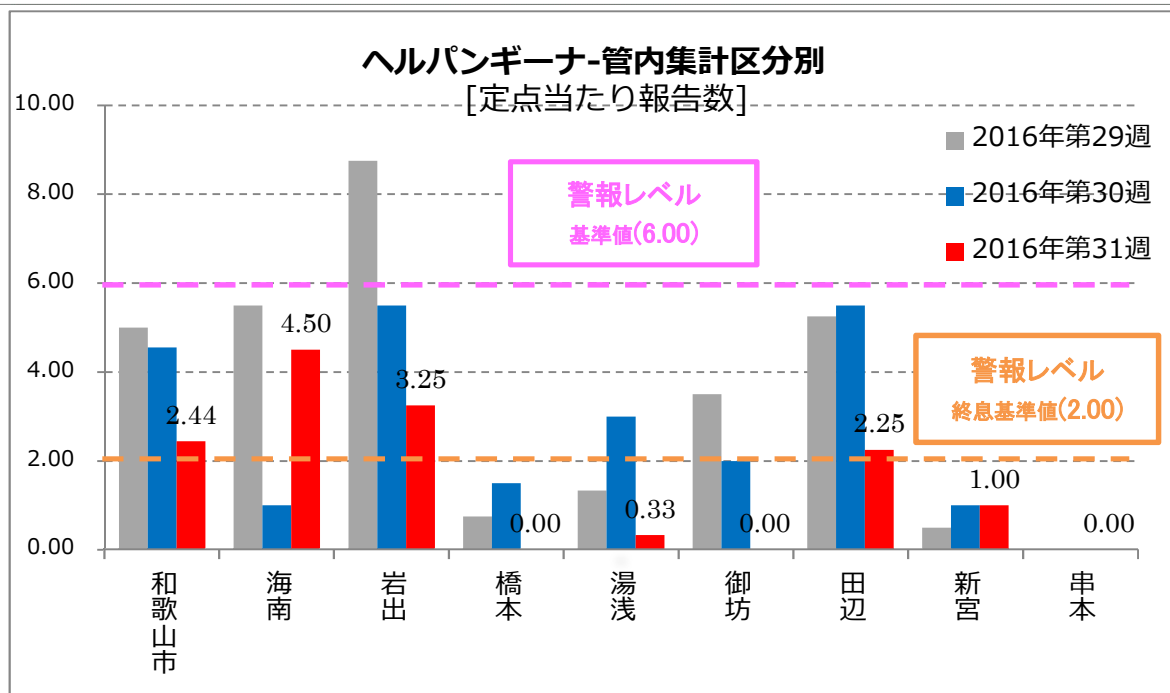
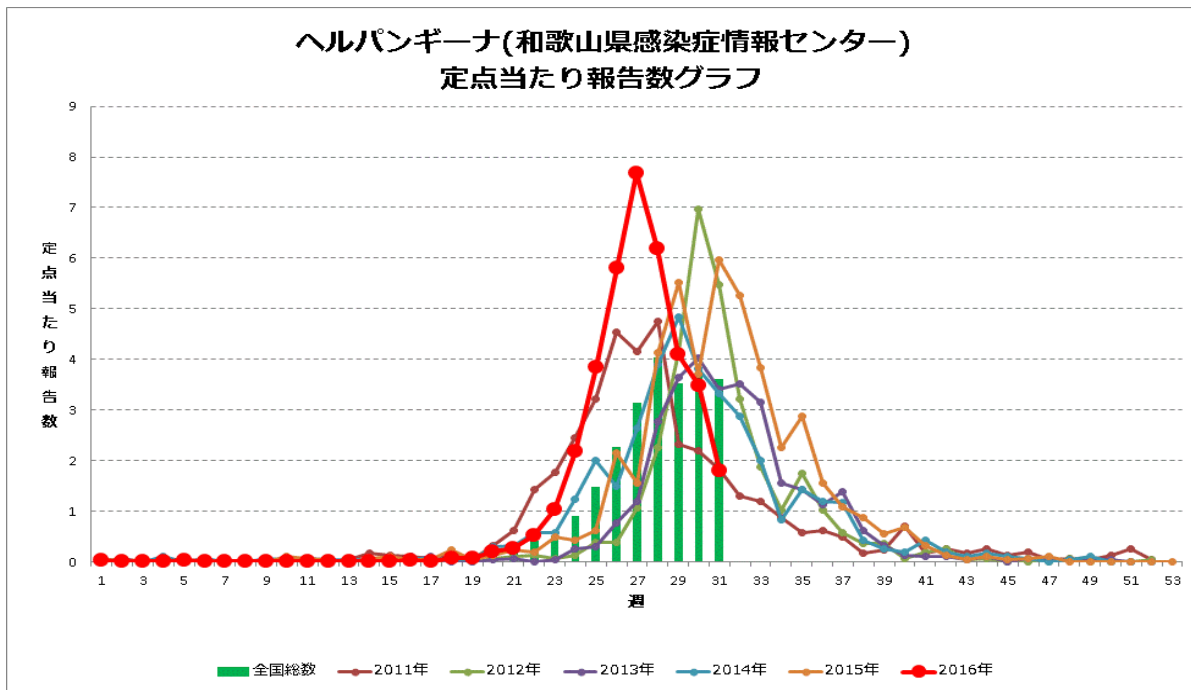
保健所別では和歌山市保健所管内が2.44人（前週：4.56人）、岩出保健所管内が3.25人（前週：5.50人）、田辺保健所管内が2.25人（前週：5.50人）となっており、警報レベル終息基準値を上回っているため警報レベルが継続しています。

全国の定点当たり患者報告数は3.62人（前週：3.85人）と減少しています。

この疾患の感染経路は、糞口感染、飛沫感染また接触感染であるため、感染者との密接な接触を避けることやうがい・手洗いの励行が感染予防対策となります。

ヘルパンギーナの詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 8 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：日本紅斑熱 1 名
- 5 類感染症：報告はありませんでした。

(2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	112
腸管出血性大腸菌感染症	10
重症熱性血小板減少症候群	5
日本紅斑熱	2
レジオネラ症	10
アメーバ赤痢	3
ウイルス性肝炎	1
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4
急性脳炎	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
後天性免疫不全症候群	5
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
侵襲性肺炎球菌感染症	5
水痘（入院例）	1
梅毒	12
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 咽頭結膜熱（御坊保健所管内）
- ヘルパンギーナ（和歌山市、岩出、田辺保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（湯浅、御坊保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	4	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	0.03	-	0.06	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	11	-	-	2	2	3	-	3	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.35	-	-	0.06	0.06	0.1	-	0.1	-	-	-	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	6	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.19	-	-	-	0.06	-	0.1	-	0.03	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	73	1	10	14	4	12	7	6	5	4	-	1	6	-	3
	定当	2.35	0.03	0.32	0.45	0.13	0.39	0.23	0.19	0.16	0.13	-	0.03	0.19	-	0.1
水痘	報告	8	-	-	2	-	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.26	-	-	0.06	-	0.03	0.06	0.06	-	0.03	-	-	-	-	-
手足口病	報告	9	-	1	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.29	-	0.03	0.16	0.03	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	8	-	-	1	1	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-
	定当	0.26	-	-	0.03	0.03	0.03	0.1	-	0.06	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	7	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.23	0.03	0.06	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	56	-	2	13	11	9	3	9	1	3	2	-	1	-	2
	定当	1.81	-	0.06	0.42	0.35	0.29	0.1	0.29	0.03	0.1	0.06	-	0.03	-	0.06
流行性耳下腺炎	報告	35	-	-	3	-	3	4	5	7	5	7	-	1	-	-
	定当	1.13	-	-	0.1	-	0.1	0.13	0.16	0.23	0.16	0.23	-	0.03	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	2	-	-	5	-	-	-
	定当	0.44	-	0.5	-	-	2.5	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	1	1	1	-	-	2	-	1	-
	定当	0.11	0.5	0.25	-	-	1	-	0.5	-
感染性胃腸炎	報告	57	2	9	2	1	2	-	-	-
	定当	6.33	1	2.25	0.5	0.33	1	-	-	-
水痘	報告	5	-	-	1	-	-	1	1	-
	定当	0.56	-	-	0.25	-	-	0.25	0.5	-
手足口病	報告	2	5	-	1	-	-	-	1	-
	定当	0.22	2.5	-	0.25	-	-	-	0.5	-
伝染性紅斑	報告	2	-	-	1	-	-	5	-	-
	定当	0.22	-	-	0.25	-	-	1.25	-	-
突発性発しん	報告	4	1	1	-	1	-	-	-	-
	定当	0.44	0.5	0.25	-	0.33	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	22	9	13	-	1	-	9	2	-
	定当	2.44	4.5	3.25	-	0.33	-	2.25	1	-
流行性耳下腺炎	報告	7	-	8	1	9	10	-	-	-
	定当	0.78	-	2	0.25	3	5	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	1	…	-	2	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	1	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	1	-	-	-	3	-	…
	定当	-	…	1	-	-	-	1.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症情報（WIDR）2016年第31号

発行日：平成28年8月12日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。